

特定非営利活動法人手賀沼トラスト会報 第 12 号(発行日:平成24年7月1日)

「沼のほとり」

発行責任者 遠藤織太郎(TEL:04-7182-0387) 編集責任者 國方幸生(TEL:04-7184-3385)

事務所:我孫子市白山二丁目 13 番 5 号

e-mail:info@teganuma-trust.jp

ホームページ:http://teganuma-trust.jp/



(ふれあいライン沿いのハスの花)

活動報告

日本ミツバチ部会に参加して

環境保全グループ

梅雨入り前に蜜箱の点検の必要があると富澤部会長から急遽の招集があり、6月11日、家内と鳥博友の会の久保氏と3名で参加しました。当日の参加者は10名で、早速、部会長から作業の内容と専門的な説明を受けました。昨年から居る桜の木の下(壺の箱)と鎌ヶ谷から移住した見晴台の箱(式の箱)の内部点検と最上段の入替え、それに今春分蜂群が飛び込んだ日暮邸裏山の箱(参の箱)のメンテナンスと周辺の草刈りが主な作業です。

まず、壺の箱の作業開始です。巣箱の回りの蜂は意外とおとなしく、余り飛び回ってないので楽観していたところ、箱の上段撤去となると、ワ～アと大量の蜂が飛び回り始め、ビックリして初参加の我ら素人3名は、遠まきに傍観するだけでした。さすがに部会の先輩諸士は、恐れずに熊の様に立ち向かっての作業です。観ていると、皆さん蜂に刺された様子もなく、日本蜜蜂はおとなしくあまり危険が無いのかな～と解って安心しました。最初は少し怖がりつつも、出来る範囲のお手伝いをさせて貰いました。巣箱を外し、中の蜜蝋等を綺麗に採るためにも、色々手順があることを学習しました。壺の箱を外したところ、心配された諸々の症状も少なく、二段目には蜜がギッシリ詰まった最高の状態でした。皆拍手！ 巣蜜を少しずつ舐めさせて貰い、この美味しいこと！最高でした。

式の箱も同様に作業。また蜜満々で拍手に拍手、皆でペロリと、ご馳走さまでした。巣によって、蜜の味が全然違うのです。これは舐めて解ったことでした(笑)。

参の箱の改築メンテナンスも無事終わり、周辺の草刈りも行って作業完了。最後に、部会長による蜜精製等のレクチャーがあり、楽しい一日が終わりました。

法子から一言「巣蜜は、とても甘いのに爽やかな味にビックリ。何より驚いたのは、採りたては蜂さんの温度を感じられることでした。今回の作業で、蜂さんの環境が良くなり、沢山の蜜を集めてくれることを待っています。」 (柴本 三弘・法子 記)

活動報告**農教室実習体験記****農事・農教室グループ**

6月10日(日)はゴマの種蒔きをしました。穴の開いた黒マルチというビニールを張って、その穴の中にゴマの種を5~6粒、くっつかないように並べる。これがなかなか難しく、小さいゴマを1粒ずつ掴むのもままならず。そこで我が家の三姉妹が意外と活躍。指が小さいからか、素早く並べていくことができ、初めて戦力になったように思います。6月17日(日)は田んぼの除草と、ヘチマ&ニガウリのネットを張る為の支柱立てを行いました。田んぼには雑草や藻がいっぱい。足を取られてよろつきながらバケツに入れて除草していきました。イネと似てるけど葉っぱが矢のような形でちょっと違うニセモノが所々にあり、イネと間違えないように注意深く抜いていく。後でこれはオモダカという植物だと遠藤先生に教えていただきました。これでも昔に比べるとだいぶ減ったそうです。その後、畑に等間隔に穴を掘り、竹を打ち込んで支柱を立てました。そして翌週の6月23日(土)、その支柱にネットを張りました。カーテンを張るように簡単にはいかず、私を含め大の大人がネットを持ちながら右往左往する様はちょっと可笑しかったです。後半ようやく要領が分かってきたので、来年は効率よく張れると思います。今年初めて子供を含め家族で参加させていただいています。普段、土に触れることがほとんどないのですが、モグラの穴に始まり、ミツバチ、ネズミ、カエル、バッタ、ヘビなど、色々な生き物と遭遇し、毎回貴重な体験をしています。皆さんにも温かく迎えていただき、子供達に声を掛けてもらったり、面倒を見てもらい、大変感謝しております。これからどうぞよろしくお願ひします。子供達はちょっと退屈のようですが、毎回の講義も楽しみの一つです。「ヘチマ」の名の由来、「冬瓜」(トウウリ)の「ト」が「いろは歌」の「へ」と「ち」の間にあることから「ヘチマ」という話など、人に得意げに話したりしています。

(岡村 敏生・千穂 記)

活動報告**食べた・飲んだ・語った~総会懇親会****(交流事業グループ)**

5月27日(日)15時15分、総会でのすべての議案が滞りなく可決されたのち、お待ちかねの懇親会がはじまりました。

交流事業グループの女性陣を中心に、前日からの入念な下準備と当日午前中の調理室を借り切ったの賄い作業により、所狭しと食べ物と並びます。赤米・黒米のおにぎり、野菜の煮物、釣ったばかりの魚の刺身、揚げ物、漬物・・・とにかく箸を置く暇がありません。おいしい料理にお酒も進みます。

少し落ち着いたところで集まった皆さんにマイクが回り、1分スピーチ。自己紹介方々、これからの抱負や今までの苦労話に花が咲きます。あっという間に時は過ぎ、気が付けばお開きの時間と相成りました。

食べた・飲んだ・語った。楽しい、楽しい懇親会でした。(参加者は約 50名)

かかし祭り開催！皆さんのご参加を！

賑やかに行われた田植えから早一月が過ぎました。小さかった苗も日増しにグングン成長し、逞しさを増しています。

手賀沼トラストでは、この稲が穂を实らせる8月上旬~9月中旬まで、田んぼに案山子を設置します。ご存知の通り、案山子はスズメ除けとして私たちの稲を守ってくれるものです。

この「案山子づくり」から「設置」、「コンテスト」までが「かかし祭り」の一連のイベントとなります。昨年は、なでしこジャパンの活躍にあやかり、女子サッカーの案山子が人気を集めました。さて今年はどうな案山子が並ぶのでしょうか。

案山子づくりは7月14日(土)です。ぜひ大勢の皆さんのご参加で、私たちの田んぼに彩りを添えてください。ご参加お待ちしております！

(坂巻 宗男 記)

活動報告**有機農業見学会****(農教室特別コース)****~茨城大学農学部附属フィールドサイエンス教育研究センターと有機農家の訪問~**

6月の特別コースセミナーは、茨城大学農学部附属フィールドサイエンス教育研究センターとその近くにある有機農家2軒を訪問、見学しました。このセンター内の敷地は、22haと広大な面積があり、研究管理棟に隣接して、田畑、農業機械、保存庫、サイロなどがあり各種の作物を栽培しています。また和牛を30頭ほど飼育し、これを生産体系に組み込んだ循環型農業の実践も行っています。また、トラストと同じように地域貢献活動の一環として近隣住民を対象とした実習活動や農産物の直売なども行っております。

午前中、講義室で私たちのためだけに大学院生による分かり易く、且つ大変興味のある研究発表をしていただきました。特に、不耕起・草生栽培についての研究は「草の持っている養分を肥料にしまおう」というとてもユニークな発想で「草を生やして土地を肥沃にする」「草を敵にしない」という考え方で、まさにこれぞ「自然農法」であり、化学肥料なども使わないため「環境保全型」農業とも言えます。考えてみると昔の農業はこれに近いものだったと思われます。

この日の午後、不耕起・草生栽培を10年間にわたり実践している農家を訪問し、見学しました。畑を見て「ビックリ！」サトイモやナスなどが植わっていましたが、雑草が生え放題、これが農家の畑かと思われるほど「ひどい？」ものです。畑は、耕していませんが土はとても柔らかく、棒が軽く刺さるほどです。表面の土を手で取ってみるとミズの糞などで「ふかふか」した感じでした。ここまでになるのに8年かかったとのこと。ここで採れた野菜は「おいしい」との近隣の評判で固定客も多く、経営的にも何とか成り立っているとのことでした。途中であきらめず、ここまで来るには相当の苦労があったものと思われます。近隣の農家では後継者不足が悩みとのことですが、この農家は、若い後継者が決まっているとのこと、この新しい農法を是非とも引き継いで、発展させてもらいたいと思っています。

(村山 正 記)

3回目の分蜂群は反対側のお隣のミカンの木の根元に取りついた。言うようにして顔を藪に突っ込む。目の前30cmに蜂球がある。黒い塊の表面に蜂がもぞもぞとうごめいているのがよく見える。すると、プーンという羽音が聞えたかと思うと、黒い小さなものが目の前をよぎった。逃げる間もなく、ちくちくきた。右の目じりだ。あわてて手で払ったが、何か小さなものが刺さっている。面白半分で見学していた娘が「お父さん、とげが刺さってるよ」。手鏡をもってきてもらうと、ハチの針が袋つきで刺さっている。ミツバチの針は釣針のように返しがついていて、刺さると根元の毒袋ごと脱落するのだ。刺したハチは死ぬ。命がけなのである。前回、手の甲のときはたいしたことはなかったが、今回はひどかった。翌日、まぶたが腫れぼったくなり、やがてふくれあがり、右目がふさがった。蜂の命の代償である。女房に、その顔で外へ出ないでね、と塾居を命じられた。

なんと、泣きっ面にハチ、とは私のために用意された格言だったのだ。この群は収容翌日に逃去、続く捕獲群もあいついで逃去。これだけではない。不運はまだまだ続く。

昨年採蜜した群れが6月に消滅。女王蜂が死んだようだ。さらに8月には我が家の最強群が逃去。私の目の前で巣から飛び立ち、巨大な渦龍をなして屋根より高く舞い昇り、船戸の森の檜の木の高枝に蜂球を作った。消防署のはしご車でも使わなければ回収できそうもない。この蜂球は3日後に新居を求めていずくともなく飛び去った。残るは1群。この虎の子群も翌春消滅。これで自宅群は全滅。あげくの果てに、見晴らし山のトラストの群も消滅。

しかし、禍福はあざなえる縄の如し、である。今年こそは福の年にしようと、初詣でで子の神大黒天に千円、香取神社にも千円、お賽銭をはずんだ。効果はてきめん、いや神仏のご利益は絶大で、トラストの蜂はなんと5群に増えた。さらに会員の矢口さん(仮名)は6群捕獲、丘崎さん(仮名)も1群ゲット。不肖私も3群を得て、庭先に据えることができた。順調に育てば、今年の蕎麦祭りではトラストの皆さんに美味しい蜂蜜と奥様方に大好評の蜜蝋クリームをたっぷり提供できそうである。

さて、終わり良ければすべてよし。だらだらと牛のよだれのように続いた長話もここで開きにさせていただきます。長い間のご愛読ありがとうございました。

改正特定非営利活動促進法について(第2回)

事務局 國方 幸生

3. 制度の使いやすさと信頼性向上のために改正された事項

(1) 認証後未登記団体の認証取消し(法第13条第3項及び第39条第2項関係)

設立の認証を受けた者が設立の認証のあった日から6ヶ月を経過しても設立を登記しないときは、所轄庁は認証を取消することができるものとされた。

(2) 理事の代表権の制限に関する登記(法第16条旧第2項関係)

理事の代表権に加えた制限は、善意の第三者に対抗することが出来ないとの規定が削除されました。旧法では理事全員を登記するものとされましたが、改正法では定款に理事の代表権を制限する規定を設けた場合、代表権を持つ理事のみを登記するものとされました。手賀沼トラストは定款第15条で「理事長はこの法人を代表し、その業務を総理する」としているため、6月8日付で「理事の変更」に係る変更登記申請書を提出、6月22日付で登記が完了しました。

(3) 会計の明確化(法第10条第1項第8号及び第27条第3号関係)

- ・ NPO 法人が作成すべき会計書類のうち「収支計算書」を「活動計算書」(注)に改め、「収支予算書」が「活動予算書」に改められました。但し、当分の間、「収支計算書」、「収支予算書」も認められます。
- ・ 活動計算書及び貸借対照表を「計算書類」とし、財産目録は「付属書類」とされました。
- ・ 区分経理(「特定非営利活動に係る事業」と「その他事業」がある場合)に関する運用として、活動計算書において区分すれば足り、事業目的により貸借対照表の区分表示までは義務付けられないよう改正されました。
- ・ 手賀沼トラストでは平成23年度決算からNPO法人会計基準に準拠した会計処理を採用しました。

(注) 従来の「収支計算書」が収入・支出の動きに焦点をあてたものであるのに対し、「活動計算書」は当期正味財産の増減及びその構造に焦点をあてたものに改められ、企業会計の損益計算書(複式簿記)の考え方に近いものになりました。

(4) 役員変更等の届出時の添付書類の追加(法第23条関係)

役員変更時の届出時に添付する書類として、新任者の就任承諾書及び宣誓書の(写)及び住民票の他に「変更後の役員名簿」が追加されました。

(5) 定款変更の届出時の添付書類の追加等(法第25条第7項関係)

定款変更届出時に総会議事録(写)と変更後の定款を添付することが追加され、登記事項の変更を伴う場合は「登記事項証明書」を所轄庁に提出することとされました。

(参考: 内閣府HP、千葉県発行ニュースレター)

6月度 活動報告

活動日	時間	区分	参加者	活動内容	担当部門
6/2	土 8:30	農教室	12名	なでしこ会(ハーブ栽培ミーティング)	農事農教室G
6/3	日 8:30	定例	10名	ハス田管理、田んぼ除草	環境保全G
6/5	火 9:00	出張	1名	千葉県庁報告、千葉県方法務局変更登記	事務局
6/8	金 9:00	農教室	5名	スイカ、カボチャの防虫ネット撤去、サツマイモ、ネギ除草	農事・農教室G
6/9	土 15:00	会議	6名	広報担当ミーティング	事務局
6/10	日 8:30	農教室	43名	サツマイモ植付け、ニガウリ、ヘチマ定植、ゴマ播種	農事農教室G
6/11	月 9:00	養蜂	10名	巣箱メンテナンス、除草、採蜜	環境保全G
6/16	土 8:30	農教室	23名	畦の除草、ニガウリ、ヘチマ支柱立て、暗渠清掃	農事・農教室G
6/17	日 8:30	定例	4名	ハス田管理、防草用ティアブレア植付け	環境保全G
6/20	水 16:00	農教室	6名	トウモロコシ管理(台風被害修復)	農事・農教室G
6/27	水 9:00	竹教室	6名	ランチョンマット制作	環境保全G
6/28	木	臨時	3名	ミカン摘果	々
6/30	土 9:00	農教室	13名	特別コースセミナー(茨城大学農学部他見学)	農事農教室G

7月～8月度 活動計画

活動日	時間	区分	活動内容	担当部門
7/1	日 8:30	定例	根戸城址、金塚古墳公道整備、ハス田管理、ハス田井戸移動	環境保全G
	8:30	農教室	圃場管理(除草、追肥、培土)	農事農教室G
7/7	土 8:30	農教室	ジャガイモ、ニンジン収穫、カレーパーティー、終了後「なでしこ会」	々
7/14	土 8:30	イベント	案山子制作(予備日:15日、16日)	交流事業G
7/15	日 8:30	定例	根戸城址、金塚古墳公道整備、ハス田の井戸を移動	環境保全G
7/21	土 8:30	農教室	圃場管理、夏野菜収穫、案山子制作(各チーム単位)	農事農教室G
7/22	日 18:00	会議	第4回定例理事会	事務局
7/25	水 9:00	竹教室	ランチョンマット制作	環境保全G
7/28	土 8:30	農教室	圃場管理、ナス更新剪定、夏野菜収穫	農事農教室G
	13:30	々	特別コース(圃場の空間放射線量測定、土壌PH測定)	々
8/4	土 9:00	イベント	田んぼに案山子設置	交流事業G
8/5	日 8:30	定例	根戸城址管理、ミカン山管理(高校生ボランティア受入予定)	環境保全G
8/11	土 8:30	農教室	夏野菜収穫、圃場管理、そば・秋野菜作付用地の耕運、施肥	農事農教室G
8/19	日 8:30	イベント	案山子コンテスト	交流事業G
8/25	土 8:30	農教室	夏野菜収穫、圃場管理	農事農教室G
8/26	日 18:00	会議	第5回定例理事会	事務局

お問い合わせ:TEL:04 - 7184 - 3385(國方)、緊急連絡:HPの「お知らせ」テロップをご覧ください。
「合同活動」、「農教室」、「イベント」に網かけをしました。

原稿募集!

長い間、私たちを楽しませてくれた富澤さんの「日本ミツバチの話」が本号で完結しました。有難うございました。

次号からの「会員コーナー」の原稿を下記の要領で募集します。環境、農、食、文化・芸術などどんなテーマでも結構です。奮ってご投稿ください。

- ・ テーマ : 自由、連載可(何回でも)、匿名可
[例]「農を楽しむ」「ふるさと自慢」「紀行文」等々
- ・ 字数 : 1,000字以内(原稿用紙でもメールでも可)
- ・ 提出日 : 随時
- ・ 提出先 : 事務局 國方宛
- ・ e-mail: info@teganuma-trust.jp

ありがとうございました!

会員の原さんからスコップと植物図鑑(2冊)を寄贈いただきました。図鑑は事務局ロッカーに保管しておきます。日頃の活動に大いにご活用ください。

編集後記

法人設立から1年が経ちました。NPO法人や市民活動団体が、市民や企業、行政等から信頼され支援を受けるためには積極的な情報開示が不可欠です。この度、「ちばNPO情報館」と日本財団が運営する公益ポータルサイト「CANPAN」に団体情報を公開しました。

まもなく、ハス田が賑やかになります。1面に数年前に撮ったハスの花の写真を掲載しました。(國方記)